

テーマ：2008年7-9月期GDP予測値の修正  
 ～前期比年率+1.0%を予想～

発表日：2008年11月12日（水）

第一生命経済研究所 経済調査部  
 主任エコノミスト 新家 義貴  
 TEL:03-5221-4528

2008年7-9月期の実質GDP成長率（11月17日公表予定）は前期比年率+1.0%（前期比+0.3%）を予測する。10月31日の段階では前期比年率+0.9%（前期比+0.2%）を予想していたが、家計消費状況調査（11/4公表）と国際収支統計（11/11公表）の結果を受けて微修正を行った。

内訳では、個人消費が前期比+0.2%（従来：同+0.1%）と上方修正、輸出が同+1.0%（従来：同+1.1%）と下方修正、輸入が同+2.0%（従来：同+1.9%）と上方修正、外需寄与度は同▲0.1%ポイント（従来：同▲0.0%ポイント）と下方修正である。その他の需要項目については変更していない。

民間調査機関のコンセンサスは前期比年率+0.01%と、ほぼゼロ成長が見込まれているが、当社では在庫投資による押し上げ<sup>1</sup>でプラス成長になる可能性が高いと予想している。

もっとも、仮にプラス成長だったとしても、潜在成長率を下回る低成長であることには変わりない。在庫関連のテクニカルな要因で押し上げられる面が大きく、内容はヘッドラインよりも悪いと判断すべきだろう。引き続き景気の牽引役は不在であり、足元の日本経済の停滞を示す結果になると予想される。

図表 2008年7-9月期GDP予測

	実質		名目	
	前期比	前期比年率	前期比	前期比年率
国内総生産(GDP)	0.3	1.0	0.0	▲ 0.4
内需寄与度	0.3	1.2	0.7	2.8
(うち民需)	0.3	1.1	0.6	2.3
(うち公需)	0.0	0.1	0.1	0.5
外需寄与度	▲ 0.1	▲ 0.2	▲ 0.9	▲ 3.1
民間最終消費支出	0.2	0.8	0.5	1.9
民間住宅	4.5	19.3	5.8	25.3
民間企業設備	▲ 1.5	▲ 5.9	▲ 1.0	▲ 3.9
民間在庫品増加(寄与度)	0.3	1.2	0.3	1.2
政府最終消費支出	0.1	0.4	0.4	1.6
公的固定資本形成	0.2	0.8	1.6	6.6
財貨・サービスの輸出	1.0	4.0	3.2	13.4
財貨・サービスの輸入	2.0	8.1	7.9	35.3

GDPデフレーター(前年比)	▲ 1.5
国内需要デフレーター(前年比)	1.5

<sup>1</sup> 詳細は Economic Indicators 「2008年7-9月期GDP予測」（10月31日発行）をご参照ください。